

2023 年 6 月 2 日

The Emerging Markets Weekly

エルドアン大統領の再選を受け、TRY は過去最安値を更新

新興国市場:先週末 5 月 26 日、アジア時間の新興国通貨は大半が上昇。米債務上限問題を巡る協議が合意に近づいているとの見方が支えとなった。MYR や PHP、CNY が上昇する一方、THB は引き続き政権の不透明感が重しとなった。欧米時間は、米経済指標の良好な結果を背景に米金利上昇・ドル高となるも、商品市況の堅調が資源国通貨の支援材料に。MXN は前日比+1.3% 値を伸ばし、BRL も上昇。週初 29 日、アジア時間の新興国通貨は方向感なく小幅な値動き。27 日に米債務上限問題についてバイデン大統領とマッカーシー下院議長が原則合意に達したことが支えとなった。TWD が小幅に上昇。他方、PHP は下落した。欧米時間、英米市場が休場のため、動意の薄い展開。欧州金利の低下を受けてユーロに連れて新興国通貨も下押しされた。TRY は 28 日のトルコ大統領選挙の決選投票の結果を背景に下落。そのほか、BRL も値を下げた。片や、MXN は小幅上昇。30 日、アジア時間の新興国通貨は上昇で取引を開始するも下げに転じた。PHP や CNY が軟調。欧米時間は米金利が低下したことを受けて、新興国通貨は反発したが、下落幅を取り戻すことはできなかった。TRY は前日比▲1.7% 下落。そのほか、BRL や MXN が軟調。31 日、アジア時間は中国 5 月製造業・非製造業購買担当者景気指数が市場予想を下振れたことが新興国通貨を下押しした。CNY や TWD が下落する一方、PHP は小幅に上昇。欧米時間は、FRB 高官らによるハト派な発言を背景に米金利低下・ドル安となり、新興国通貨は反発するも、大半が前日比マイナス圏で取引を終えた。TRY は前日比▲1.5% 下落した。6 月 1 日のアジア時間、良好な中国経済指標の結果を受けて新興国通貨は堅調。KRW が上昇した。欧米時間、米下院で債務上限引き上げ関連法案が可決されるも、冴えない米経済指標を受けてドル売り・新興国通貨買いとなった。BRL は良好なブラジル経済指標を好感し上昇。そのほか、MXN や ZAR も値を上げた。他方、TRY は下落し、過去最安値を更新した。

アジア:5 月 26 日発表のマレーシア 4 月消費者物価指数(CPI)は前年比+3.3%と市場予想(同+3.3%)通りとなった。31 日発表の中国 5 月製造業 PMI は 48.8、非製造業 PMI は 54.5 と両者とも市場予想を下振れた。製造業 PMI は景気拡大・縮小の分岐点となる 50 を 2 か月連続で下回った。タイ中央銀行(BOT)は 31 日に政策金利を 25bp 引き上げ 2.00%にすることを決定した。利上げは 6 会合連続。31 日発表のインド 1~3 月期実質 GDP は前年比+6.1%と 10~12 月期(同+4.5%)から加速し、市場予想(同+5.0%)を上回った。

中東欧・アフリカ:5 月 28 日にトルコの大統領選挙の決選投票が実施され、現職のエルドアン大統領が勝利した。31 日発表のトルコ 1~3 月期実質 GDP は前年比+4.0%と市場予想(同+3.5%)を上回った。

ラテンアメリカ:6 月 1 日発表のブラジル 1~3 月期実質 GDP は前年比+4.0%と 10~12 月期(同+1.9%)から加速し、市場予想(同+3.1%)を上回った。

市場営業部
マーケット・エコノミスト
堀 堯大
03-3242-7065
takahiro.hori@mizuho-bk.co.jp

長谷川 久悟
03-3242-7065
kyugo.hasegawa@mizuho-bk.co.jp

大島 由喜
03-3242-7065
yuki.ooshima@mizuho-bk.co.jp

欧州資金部
シニア為替ストラテジスト
中島 将行
masayuki.nakajima@mhc.co.uk

市場概観(トルコ)

決選投票でエルドアン大統領の再選が確実に

欧州資金部

シニア為替ストラテジスト

中島 将行

masayuki.nakajima@mhcb.co.uk

- トルコでは 5 月 28 日に大統領選挙の決選投票が行われ、開票率 99.69% の時点で 52.13% の得票を得ている現職のエルドアン大統領が勝利宣言を行った。野党候補のクルチダルオール氏は 47.87% の得票に留まっている。
- 5 月 14 日に大統領選挙(第一回投票)と共に実施された議会選挙では、与党・公正発展党(AKP)を中心とする連立である「人民同盟」が議席の過半数を獲得している。大統領選挙・議会選挙ともに与党側が勝利し、現在の政治体制が継続する結果となった。
- 世論調査では苦戦が予想されていたエルドアン大統領だが、第一回投票の結果を改めて見ると、内陸部での圧倒的な支持が勝因となった可能性が高い。内陸部は沿岸部に比べて宗教的に保守的なほか、経済的に立ち遅れており、イスラム的価値観や富の再分配を重視するエルドアン氏に対する共感が根強いと見られている。世論調査はこうした内陸部での現職支持の実態を把握し切れていなかった可能性があるだろう。
- トルコ・リラ相場は大統領選挙の決着が着いた今、一段と下落圧力が強まる公算が大きい。選挙前にリラの下落を抑えるために行われていたと見られる為替介入やオフショア市場へのリラの流動性供給の抑制などの政策は継続が困難だと見られるためだ。とりわけ、外貨準備の目減りは危機的な状況にある。外貨準備は 5 月 19 日時点で昨年末から 272 億ドル減少(率にして約 20% の減少)した。さらに、トルコ中銀が市中の金融機関から預け入れられた外貨や金を除いた「純」外貨準備はマイナスに落ち込んでいる。為替介入でリラ相場下落を抑えるのは限界にきているだろう。
- リラ下落ペースが速まるなか、トルコ政府は市場からの圧力に迫られる形である程度、オーソドックスな形の金融・財政政策に回帰する姿勢を示す公算が大きいと見ている。とりわけ、トルコ中銀による金融引き締めや、信用拡張に依存した政策の転換が行われるかが重要である。選挙後、誰が金融・財政政策の司令塔を担うのがまずは焦点となろう。ただし、短期金利市場では 2023 年末までに現在 8.50% の政策金利が 20% 超の水準まで引き上げられる織り込みとなっているが、これが実現する可能性は低いだろう。おそらく 7~8% ポイントの引き上げと、リラの流動性供給の抑制や、両替規制などによってリラの下落圧力を抑えようとする折衷策が取られるように思われる。こうした政策の組み合わせでも、トルコ当局はリラの下落をある程度容認する必要があると見られるが、対ドル 22 程度(大統領選挙の第一回投票の前の 19.5 の水準からは 11% の下落)で留まると見ている。トルコ政府がオーソドックスな形での政策運営に回帰する姿勢をはっきりと示すことができれば、リラが失地を回復する余地はあるだろう。
- リスクシナリオとしては、エルドアン政権が大統領・議会選挙で勝利したことを受けて、現在の低金利・信用拡張政策に対する自信を深め、一切の政策的な妥協を許さない強硬な姿勢を市場に対して示すケースが挙げられる。とりわけ、現在 8.50% のトルコ中銀の政策金利が一切引き上げられなければ

ば、通貨危機発生への懸念が高まることは避けられないだろう。金融市場の混乱・機能不全が一段と深まるようであれば、トルコ国債の信用力にも悪影響を及ぼすリスクがある。トルコの外貨準備の状況を考慮すればある程度、譲歩せざるを得ないように思われるが、2024 年 3 月に地方選挙を控えるなか、低金利・信用拡張政策を現政権が続けるインセンティブは強いと見られ、こうしたリスクシナリオへの警戒も一定程度、必要となる。

- その他、エルドアン政権は最低賃金の大幅引き上げ、黒海での天然ガスの生産開始に伴う家庭向けガスの一部無料化、といった選挙前の公約を実現に移すと見られる。外交面では、ロシアや米国、欧州といったプレーヤーと時に対立しながらも全ての国とパイプを持つトルコとしての存在感を示し実利を得ようとする独自の立ちまわりを継続するだろう。

図表 1:トルコ大統領選挙決選投票(2023 年 5 月 28 日実施) 投票結果 開票率 99.69%

エルドアン大統領	クルチダルオール氏
52.13%	47.87%

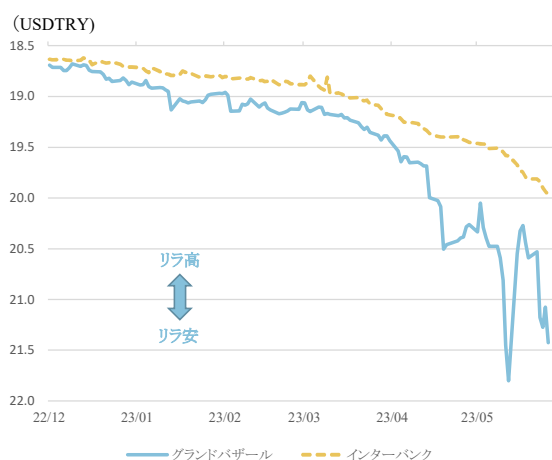
資料:TRT/みずほ銀行

図表 2:トルコ議会選挙(2023 年 5 月 14 日実施) 投票結果 獲得議席数(全 600 議席、一院制)

連合	人民同盟	323	国民連合	212	その他	65
個別政党	AKP	268	CHP	169	YSP	61
	MHP	50	IYI	43	TIP	4
	YRP	5				
	BBP	0				

資料:TRT/みずほ銀行

図表 3:トルコリラの推移



注:ランドバザールはオスマン帝国時代以来の歴史を持つ、イスタンブールの旧市街にある巨大市場。

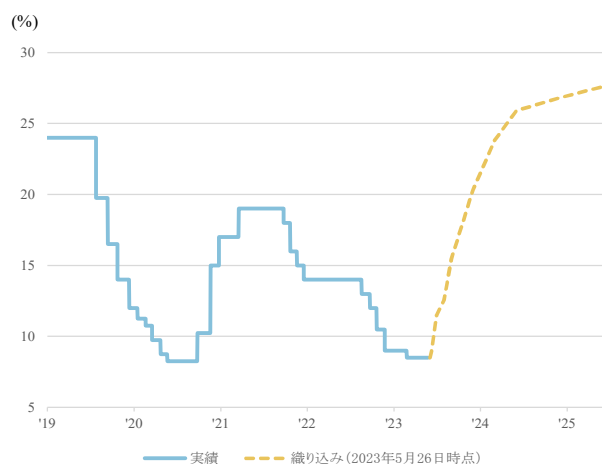
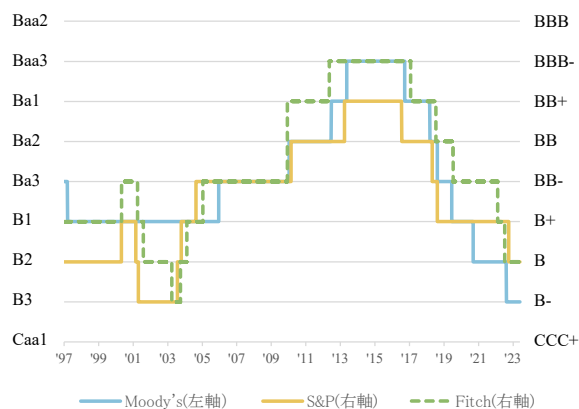
出所:ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 4:トルコ 外貨準備



注:純外貨準備は市中の銀行からトルコ中央銀行が借り入れた外貨や金を差し引いたもの。

出所:ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 5:トルコ中央銀行 政策金利 実績と市場の織り込み

図表 6:トルコ国債 信用格付けの推移


市場概観(フィリピン)

5 月金融政策会合～昨年から続いた利上げを停止

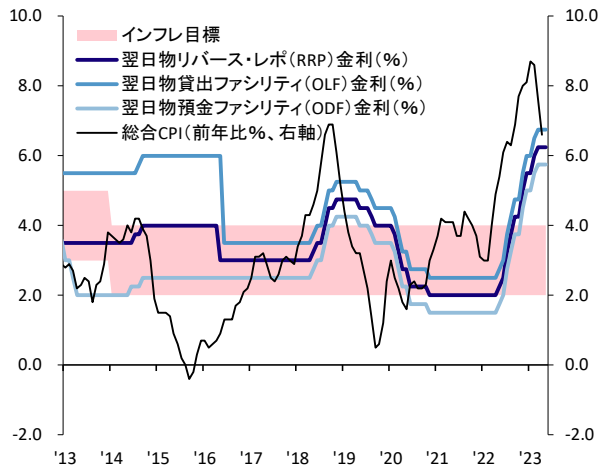
市場営業部
マーケット・エコノミスト
堀 堯大
03-3242-7065
takahiro.hori@mizuho-bk.co.jp

フィリピン中央銀行(BSP)は18日に開催した金融政策会合で、政策金利の翌日物リバースレポレートを超えて従来の6.25%に据え置いた(図表1)。BSPは過去9回連続で利上げを実施してきたが、今回、長く続いてきたインフレの鈍化を受けて利上げを停止することとなった。また、上限金利の翌日物貸出ファシリティ(OLF)レートおよび下限金利の翌日物預金ファシリティ(ODF)レートも変動なく、それぞれ6.75%と5.75%となった。なお、ブルームバーグの事前予想では、現状維持がやや有力であった。

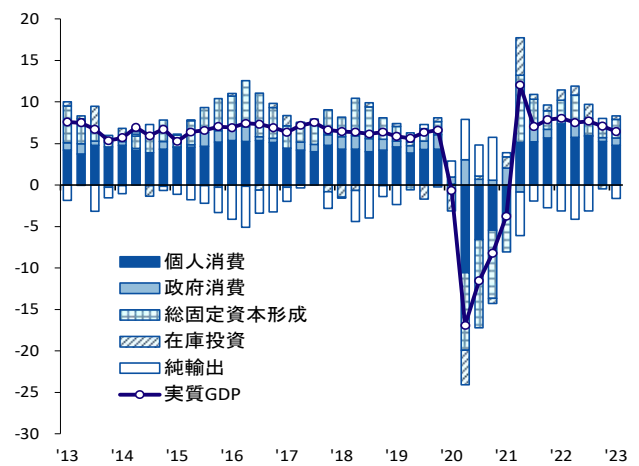
声明文では、利上げを停止するに至った背景に関する記述が目立った。国内経済について、本会合の1週間前に公表された1～3月期実質GDP成長率は前年比+6.4%となった(図表2)。堅調さを保った個人消費や政府支出の拡大が成長を下支えする格好となった。とは言え、前四半期の同+7.1%から減速しており、BSPは主に個人消費の若干の鈍化に触れながら、昨年から継続して来た利上げの効果が徐々に実体経済に波及し始めているとの見解を示した。この点も利上げ停止に至る材料となったと考えられる。

物価動向について、4月消費者物価指数(CPI)は前年比+6.6%と3月の同+7.6%からまとまった幅で低下した(図表2)。直近数か月については、自然災害による食料品供給状況が改善したことやエネルギー価格の下落が進んだことが確認されている。また、BSPは23～24年にかけてのインフレ見通しを更新しており、それぞれ前年比で+5.5%、+2.8%とした。3月時点と比較して23年は▲0.5%ポイント、24年は▲0.1%ポイントと、今年のインフレ見通しは大きく引き下げられた。インフレ目標は+2.0%～+4.0%としているが、早ければ今年の10～12月期にレンジ内へ収束していくと予想した。もっとも、23年のインフレ予想はBSPが掲げる目標とは依然かい離がある状況で、今回は利上げを停止することとなったが、その後は直ぐに利下げに転換せず現行の政策金利の水準で経済・物価動向を注視していく姿勢が声明文内に記載されている。メダラ BSP 総裁は会合後の会見にて、インフレリスクは引き続き上方向に強い点に言及し、必要に応じて利上げを再開する可能性があることを示唆した。先行きの政策運営についてはデータ次第の側面が大きく、今後数回の会合では政策金利据え置きが基本線となるとの見方を示した。

本会合のPHPへの影響は比較的軽微となったが、5月に入り対ドルで年初来安値に近づく動きが続いている(図表4)。金利面では米国、フィリピンとも金融政策正常化が終盤に差し掛かっている中で、金利差の変動は徐々に落ち着きを見せることが予想される。市場がFRBの利上げ終了後の相場材料を探る中で、PHPの軟調な動きは米国での債務上限問題といった短期的なヘッドラインに動いた側面もあったが、市場心理は世界的に進んだ金融引き締め終了後の経済の減速懸念を織り込んだ結果、上向きにくくなっているように見受けられる。23年の世界経済を見据える上で、中国経済の正常化が大きな景気押し上げ要因に挙げられるものの、景気回復ペースは緩やかであるほか、G7広島サミット終了後に米中両国の緊張感が高まりつつある中で貿易・投資面でのデカップリングを増幅させる可能性を指摘する声もある。国内経済の回復がピークアウトしたことに加え、外部環境の変化にPHPが揺れる展開は続きそうだ。

図表 1: 政策金利水準とインフレ目標


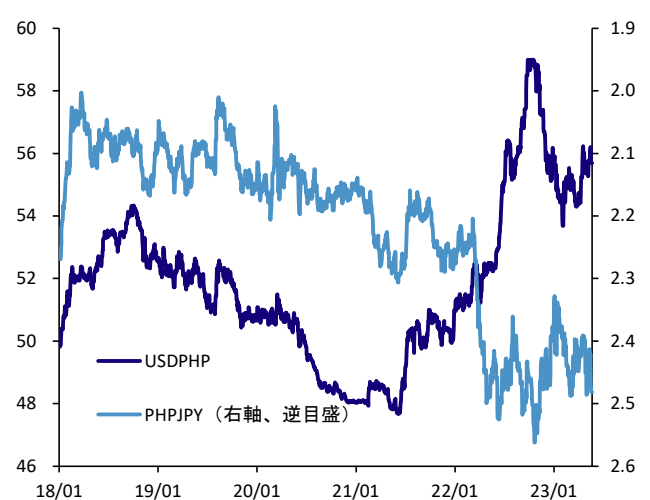
出所: フィリピン中央銀行、フィリピン国家統計局、Bloomberg、みずほ銀行

図表 2: 実質 GDP 成長率の推移 (前年比%、%ポイント)


出所: CEIC、みずほ銀行

図表 3: 消費者物価上昇率の推移 (前年比%、%ポイント)


出所: CEIC、みずほ銀行

図表 4: PHP の推移


出所: CEIC、みずほ銀行

市場概観(タイ)

5 月金融政策委員会～利上げを継続、政策金利はコロナ前の水準を超える

市場営業部
マーケット・エコノミスト
堀 堯大
03-3242-7065
takahiro.hori@mizuho-bk.co.jp

タイ中央銀行(BOT)は31日に金融政策委員会を開催し、政策金利を従来の1.75%から2.00%に引き上げた(図表1)。委員会メンバーの全会一致での決定となった。政策金利の引き上げは6会合連続での実施となり、利上げ幅は従前の25bpsを維持した。今回の利上げによって政策金利はコロナ禍前の水準を超えた。ブルームバーグの事前予想でも25bpsの利上げ予想が有力であった。

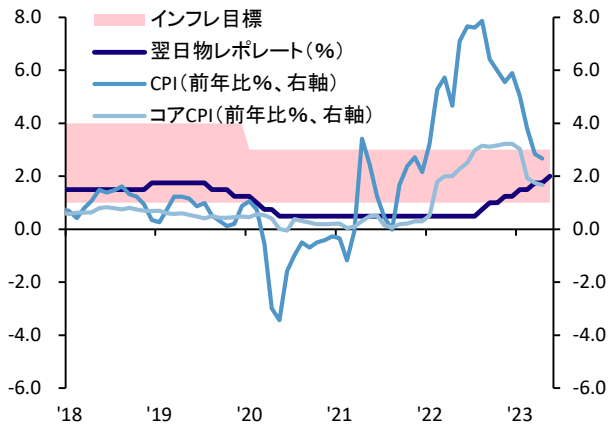
会合後の声明文では国内経済について、個人消費と観光業関連産業の回復が順調に進んでいる点を指摘し、今後もタイ経済を支えていくとの見方を示した。23年1～3月期実質GDP成長率の結果は前年同期比+2.7%で6四半期連続のプラスを維持し、前四半期の同+1.4%から加速した。観光業を中心としたサービス輸出の伸びは同+87.8%と引き続き強い数字を記録した。なお、BOTは今後2年間の成長見通しをそれぞれ従前の前年比+3.6%、+3.8%に据え置いた。海外からの観光客の受け入れ状況は、23年4月までで約850万人と、22年通年と比較しても既に約70%の水準に到達している(図表3)。中国人観光客の受入割合がコロナ禍前は全体の約3割弱を占めていたが、今年はまだ1割程度に留まっており、更なる受入余地を残しているものと考えられる。BOTは年間の外国人観光客受入予想を2800万人に設定しており、中国人観光客に限らず人流の活性化を見込んでいる。

物価動向に関しては、直近の4月消費者物価指数(CPI)が前年比+2.7%と4か月連続で減速。生鮮食品とエネルギー価格を除いたコアCPIも同+1.7%とインフレ鈍化は着実に進んでおり、BOTの目標レンジに(+1.0～+3.0%)収束しつつある状況だ(図表4)。もっとも、BOTは今後の需要増加や企業の価格転嫁による物価上昇を警戒している。また、先述した観光業については労働需給のバランスに着目したい。図表5で示される宿泊施設稼働状況は段階的に上昇しているが、コロナ前の水準に到達していない。受入状況が回復途上にあるというのも勿論その要因の1つだろうが、直近数か月は従業者不足のため稼働率が伸び悩んでいるとも考えられる。23年に入っての失業率は未公表ながら、サービス業全般で人手の確保が困難となっている可能性は大いに考えられる。

かかる中、着実な景気拡大が期待される一方、インフレを注視する必要があるとして、利上げの継続を決定。今後の方針について、経済・物価動向の見通しに修正が生じた場合には正常化の度合いやタイミングを調整する用意がある、と従前からの姿勢を維持し、物価安定と持続可能な景気拡大、金融安定を目指すことを強調した。

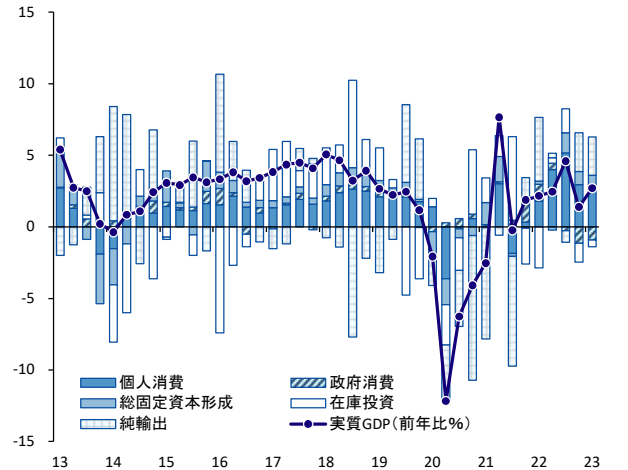
為替について、6月FOMCでの情報発信、債務上限引き上げに関する交渉が完全な決着を迎えるまでは、やや不安定な相場が続くだろうがその後は市場心理が徐々に上向いていく展開も期待できる。観光業の堅調回復を受け、THBの最大の強みと言える需給環境が着実にコロナ前に戻りつつある点は大きい(図表6)。もっとも、THBの下落リスクが無いわけではなく、世界的な金融引き締め終了後の景気動向や金融市場のリスク心理の状況に左右される展開は続くだろう。国内要因では、5月の総選挙後の野党の連立政権交渉に時間を要している。政治の先行きが不透明化することは投資家心理の悪化に繋がりうるため、早期の解決が待たれる。

図表 1: タイの政策金利とインフレ率



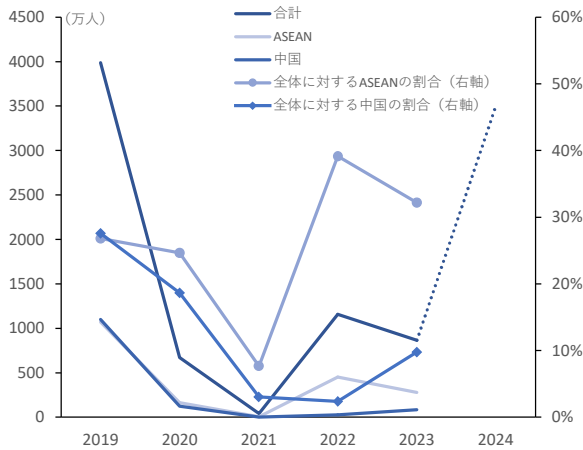
出所: タイ中央銀行、タイ商務省、CEIC、みずほ銀行

図表 2: 実質 GDP 成長率の推移(%, %ポイント)



出所: CEIC、みずほ銀行

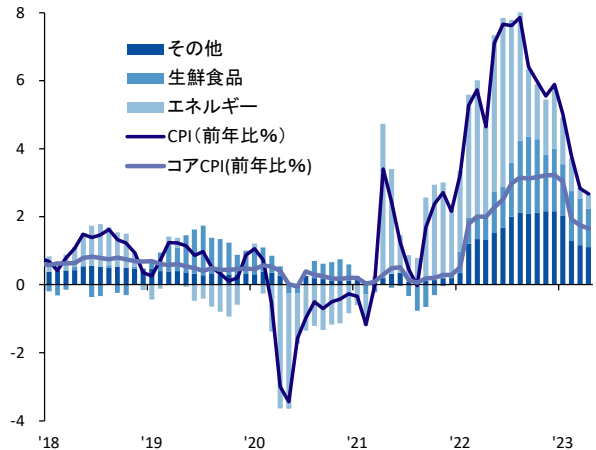
図表 3: 外国人観光客の訪問状況



出所: Bloomberg、みずほ銀行

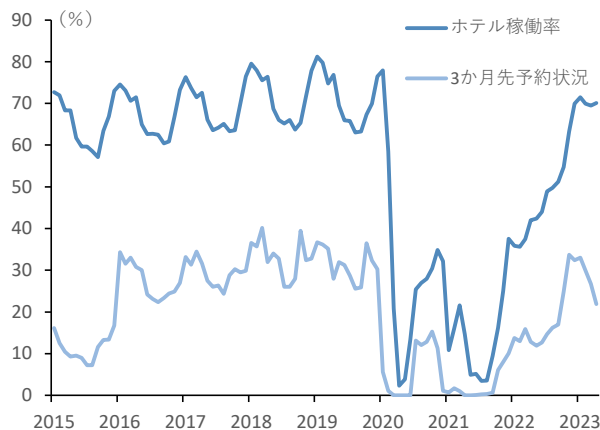
注: 23 年は 4 月までの暫定値、24 年は予想値

図表 4: CPI の動向 (前年比%, %ポイント)



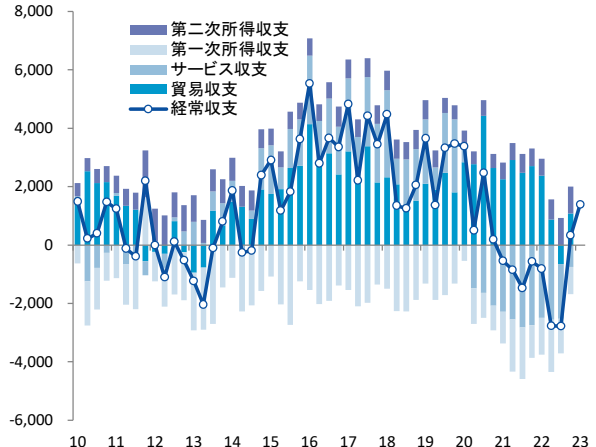
出所: CEIC、みずほ銀行

図表 5: 宿泊施設稼働状況



出所: Bloomberg、みずほ銀行

図表 6: 経常収支の動向(億バツ)

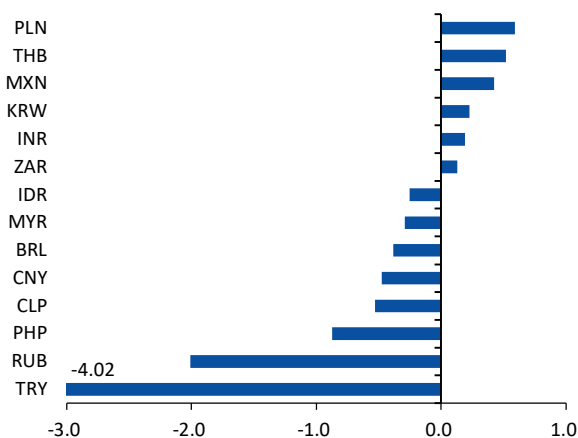


出所: CEIC、みずほ銀行

注: 23 年 1~3 月期は経常収支のみ表示

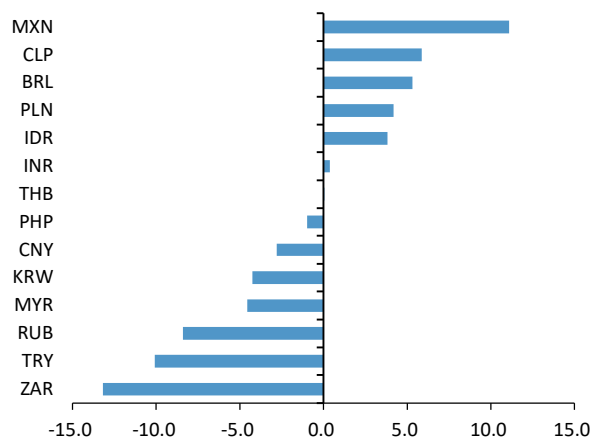
資産別騰落率

為替週間騰落率(対ドル、%)



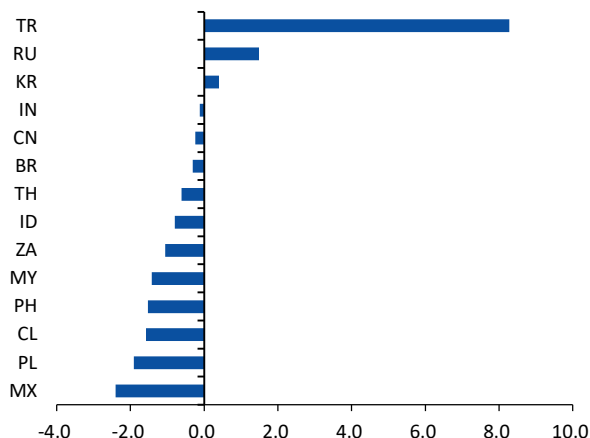
出所: ブルームバーク、みずほ銀行

為替年初来騰落率(対ドル、%)



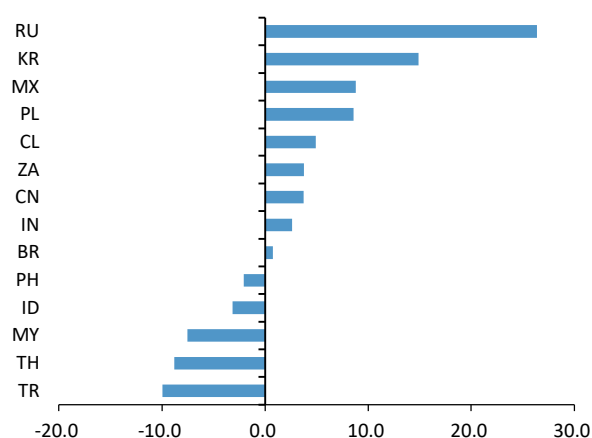
出所: ブルームバーク、みずほ銀行

株価週間騰落率(%)



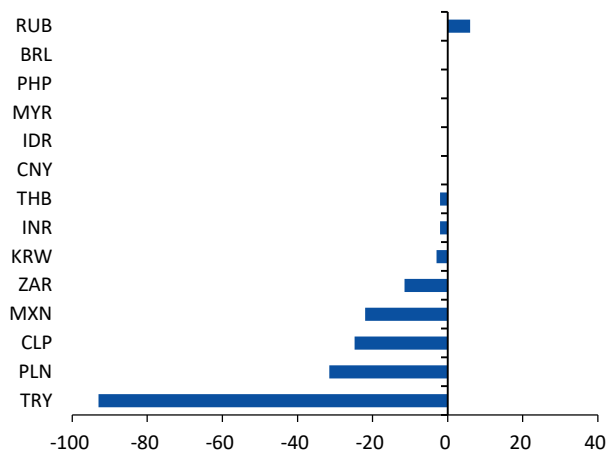
出所: ブルームバーク、みずほ銀行

株価年初来騰落率(%)



出所: ブルームバーク、みずほ銀行

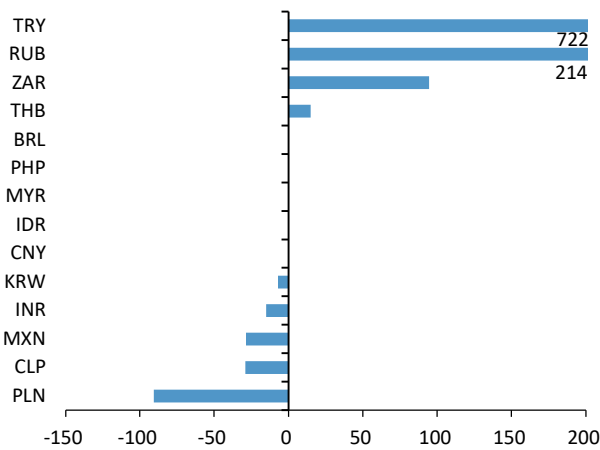
5 年物スワップレート週間変化(bp)



注: データの都合によりブラジルの値は未掲載。

出所: ブルームバーク、みずほ銀行

5 年物スワップレート年初来変化(bp)

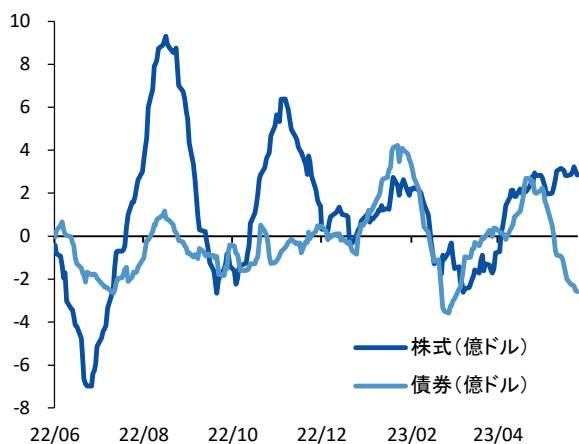


注: データの都合によりブラジルの値は未掲載。

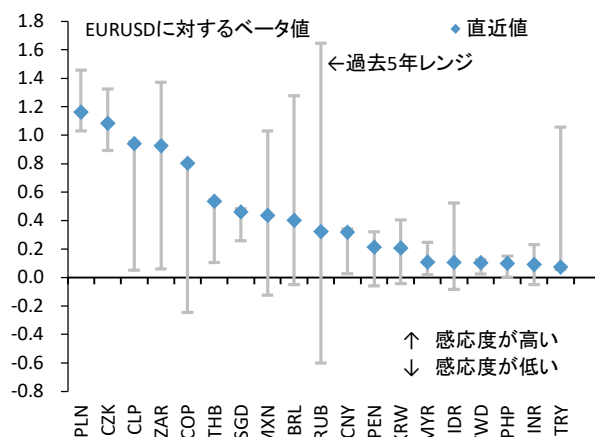
出所: ブルームバーク、みずほ銀行

チャート集

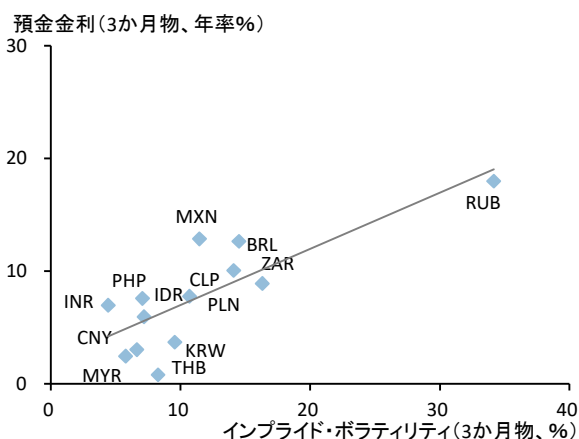
主要新興国への証券投資(4週間移動平均)



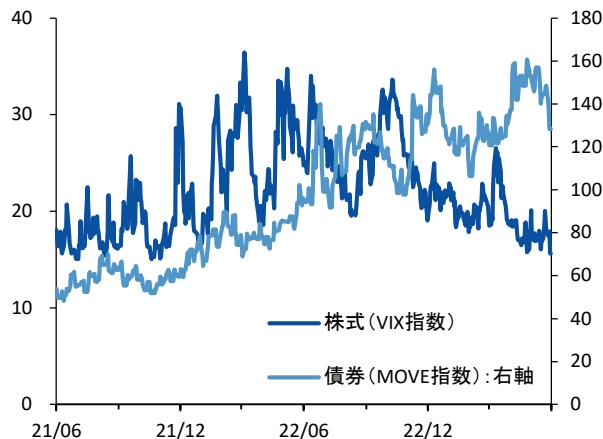
EM通貨(対ドル)のEURUSDに対する感応度(過去12か月)



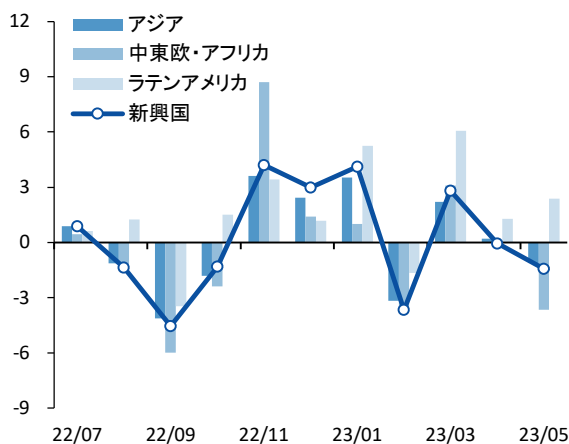
新興国の預金金利と為替ボラティリティ



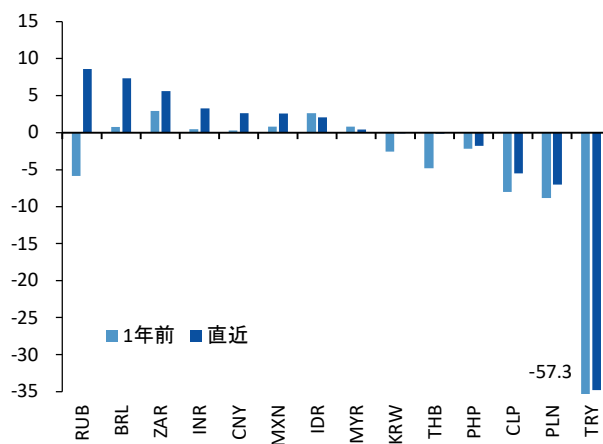
株式と債券のボラティリティ(VIX指数、MOVE指数)



新興国現地通貨建て国債月次パフォーマンス(%)



実質金利(10年物国債金利 - 消費者物価上昇率、%)



新興国経済カレンダー

日付	国	経済指標・イベント	市場予想	発表値	前回値	修正値
エマージングアジア						
5月30日 (火)	タイ	貿易収支(通関ベース)	-\$450m	-\$1470m	\$2719m	--
31日 (水)	韓国	鉱工業生産(前年比)	-7.8%	-8.9%	-7.6%	--
31日 (水)	中国	製造業PMI	49.5	48.8	49.2	--
31日 (水)	中国	非製造業PMI	55.3	54.5	56.4	--
31日 (水)	タイ	タイ中央銀行指標金利	2.00%	2.00%	1.75%	--
31日 (水)	タイ	国際収支:経常収支	\$2200m	-\$476m	\$4779m	--
6月1日 (木)	韓国	貿易収支	-\$2555m	-\$2100m	-\$2620m	-\$2654m
1日 (木)	中国	Caixin中国製造業PMI	49.5	50.9	49.5	--
2日 (金)	韓国	GDP(前年比)	0.8%	--	0.8%	--
2日 (金)	韓国	CPI(前年比)	3.4%	--	3.7%	--
5日 (月)	中国	Caixin中国PMIサービス業	55.2	--	56.4	--
5日 (月)	インドネシア	CPI(前年比)	--	--	4.3%	--
5日 (月)	シンガポール	小売売上高(前年比)	--	--	4.5%	--
6日 (火)	フィリピン	CPI YoY 2018=100	--	--	6.6%	--
6日 (火)	タイ	CPI(前年比)	--	--	2.7%	--
7日 (水)	中国	貿易収支	--	--	\$90.21b	--
8日 (木)	インド	RBILレポート	--	--	6.50%	--
9日 (金)	韓国	国際収支:経常収支	--	--	\$267.9m	--
9日 (金)	フィリピン	貿易収支	--	--	-\$4928m	--
9日 (金)	中国	CPI(前年比)	--	--	0.1%	--
9日 (金)	中国	PPI(前年比)	--	--	-3.6%	--
9日 (金)	マレーシア	鉱工業生産(前年比)	--	--	3.1%	--
中東欧・アフリカ						
5月30日 (火)	トルコ	貿易収支	-8.80b	-8.74b	-8.34b	--
31日 (水)	トルコ	GDP(前年比)	3.5%	4.0%	3.5%	--
31日 (水)	南ア	貿易収支(ラント)	-3.1b	3.5b	6.9b	--
6月1日 (木)	ロシア	鉱工業生産(前年比)	--	5.2%	1.2%	--
1日 (木)	ロシア	実質小売売上高(前年比)	--	7.4%	-5.1%	--
5日 (月)	トルコ	CPI(前年比)	--	--	43.7%	--
5日 (月)	トルコ	PPI 前年比	--	--	52.1%	--
6日 (火)	南ア	GDP(前年比)	--	--	0.9%	--
8日 (木)	南ア	経常収支	--	--	-174b	--
8日 (木)	南ア	製造業生産(季調前/前年比)	--	--	-1.1%	--
9日 (金)	トルコ	鉱工業生産(前年比)	--	--	-0.1%	--
9日 (金)	ロシア	主要金利	--	--	7.50%	--
ラテンアメリカ						
5月30日 (火)	ブラジル	FGVインフレIGPM(前年比)	-4.4%	-4.5%	-2.2%	--
31日 (水)	ブラジル	純債務対GDP比	57.5%	57.2%	57.2%	--
6月1日 (木)	ブラジル	GDP(前年比)	3.0%	4.0%	1.9%	--
2日 (金)	ブラジル	貿易収支(月次)	\$9400m	--	\$8225m	--
2日 (金)	ブラジル	鉱工業生産(前年比)	-1.5%	--	0.9%	--
6日 (火)	ブラジル	FGVインフレ率IGP-DI(前月比)	--	--	-1.0%	--
7日 (水)	ブラジル	IBGEインフレIPCA(前月比)	--	--	0.6%	--
8日 (木)	メキシコ	CPI(前年比)	--	--	6.3%	--
9日 (金)	メキシコ	鉱工業生産(季調前/前年比)	--	--	1.6%	--

注: 2023 年 6 月 2 日現在、信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性を全面的に保証するものではありません。
出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

為替相場見通し

		2023年 1～5月（実績）	SPOT	2023年 6月	9月	12月	2024年 3月	6月
対ドル								
エマージングアジア								
中国人民元	(CNY)	6.6910 ～ 7.1128	7.0975	7.00	6.95	6.90	6.85	6.80
香港ドル	(HKD)	7.7920 ～ 7.8500	7.8301	7.84	7.84	7.82	7.80	7.76
インドルピー	(INR)	80.883 ～ 82.949	82.414	83.2	83.8	82.0	80.4	79.6
インドネシアルピア	(IDR)	14565 ～ 15643	14994	15050	15600	15000	14900	14800
韓国ウォン	(KRW)	1216.30 ～ 1343.02	1321.55	1330	1330	1290	1270	1250
マレーシアリングギ	(MYR)	4.2250 ～ 4.6398	4.6137	4.65	4.68	4.43	4.36	4.28
フィリピンペソ	(PHP)	53.628 ～ 56.438	56.280	56.3	56.6	53.8	53.5	53.0
シンガポールドル	(SGD)	1.3032 ～ 1.3576	1.3471	1.37	1.37	1.33	1.34	1.33
台湾ドル	(TWD)	29.608 ～ 30.915	30.750	30.5	31.2	30.7	30.0	29.5
タイバーツ	(THB)	32.57 ～ 35.39	34.59	34.8	35.0	33.8	32.8	32.7
ベトナムドン	(VND)	23415 ～ 23858	23485	23600	24500	23800	23700	23600
中東欧・アフリカ								
ロシアルーブル	(RUB)	67.0415 ～ 83.2879	81.0001	81.0	82.0	83.0	84.0	85.0
南アフリカランド	(ZAR)	16.6950 ～ 19.8672	19.6381	20.0	21.0	20.0	19.0	19.0
トルコリラ	(TRY)	18.4339 ～ 20.8081	20.8646	22.0	21.0	20.0	19.5	21.0
ラテンアメリカ								
ブラジルリアル	(BRL)	4.8858 ～ 5.4798	5.0138	5.05	5.20	5.10	5.12	5.15
メキシコペソ	(MXN)	17.4207 ～ 19.5882	17.5606	18.0	18.5	19.0	19.1	19.2
対円								
エマージングアジア								
中国人民元	(CNY)	18.793 ～ 19.919	19.564	20.00	20.43	20.43	20.29	20.29
香港ドル	(HKD)	16.295 ～ 17.988	17.721	17.86	18.11	18.03	17.82	17.78
インドルピー	(INR)	1.559 ～ 1.704	1.684	1.68	1.69	1.72	1.73	1.73
インドネシアルピア	(100IDR)	0.831 ～ 0.942	0.925	0.930	0.910	0.940	0.933	0.932
韓国ウォン	(100KRW)	9.915 ～ 10.743	10.496	10.53	10.68	10.93	10.94	11.04
マレーシアリングギ	(MYR)	29.106 ～ 31.133	30.289	30.11	30.34	31.83	31.88	32.24
フィリピンペソ	(PHP)	2.325 ～ 2.522	2.486	2.49	2.51	2.62	2.60	2.60
シンガポールドル	(SGD)	96.55 ～ 104.36	103.01	102.49	103.50	105.70	103.58	104.15
台湾ドル	(TWD)	4.205 ～ 4.599	4.514	4.59	4.55	4.59	4.63	4.68
タイバーツ	(THB)	3.770 ～ 4.053	4.011	4.02	4.06	4.17	4.24	4.22
ベトナムドン	(10000VND)	0.5430 ～ 0.5999	0.5913	0.59	0.58	0.59	0.59	0.58
中東欧・アフリカ								
ロシアルーブル	(RUB)	1.593 ～ 1.948	1.713	1.73	1.73	1.70	1.65	1.62
南アフリカランド	(ZAR)	6.909 ～ 7.863	7.066	7.00	6.76	7.05	7.32	7.26
トルコリラ	(TRY)	6.189 ～ 7.482	6.599	6.36	6.76	7.05	7.13	6.57
ラテンアメリカ								
ブラジルリアル	(BRL)	23.723 ～ 28.244	27.669	27.72	27.31	27.65	27.15	26.80
メキシコペソ	(MXN)	6.651 ～ 8.002	7.902	7.78	7.68	7.42	7.28	7.19

注: 1. 実績の欄は 2023 年 5 月 31 日まで。SPOT は 6 月 2 日の 7 時 25 分頃。

2. 実績値はブルームバーグの値。

3. 予想の欄は四半期末の予想。

出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。